

地域再生計画名称		総合戦略の位置づけ						事業目的・概要				
高萩市まち・ひと・しごと創生推進計画		すべての事業						人口減少が進み、産業・雇用、地域コミュニティ活動、地域交通、財政・行政サービス等への影響が懸念されるなかで、社会減に歯止めをかけるため、結婚・出産・子育ての希望の実現を図り自然増につなげ、新たな雇用の創出や移住等の推進、社会変化に対応したまちづくりを目指す。				
交付金対象事業名称		事業開始			事業終期							
該当なし（企業版ふるさと納税）		令和3年4月			令和7年3月							
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		数値	事業開始前	令和3年度増加分	令和4年度増加分	令和5年度増加分	令和6年度増加分	増加分累計	達成状況		中間時点（令和4年度）の実現状況に関する評価
	指標1	新規創業者数	(目標) 1人 (実績) 1人	1人 (2人)	2人 (4人)	2人 (6人)	2人 (8人)	7人	指標総数	達成数	9月末現在、起業塾を受講した者（1名）が年度内に開業を予定しており、目標値を達成できる見込みである。 商工会と連携し創業支援の体制を図っていく。	
	指標2	年間商品販売額	(目標) 2,919千円 (実績) 2,919千円	—	—	—	—	496千円 (3,415千円)	8	1	経済センサス商業統計（5年に1回） 令和9年12月に公表予定	
	指標3	転出超過（転出者数－転入者数）	(目標) 114人 (実績) 203人 (R1) 184人 (R2)	▲8人 (106人)	▲8人 (98人)	▲9人 (89人)	▲9人 (80人)	▲34人	※4項目は現時点で評価不可		新型コロナの影響により、都内での移住イベントの中止など転入増加に繋がる事業の実施や周知ができなかった。今後は、コロナ禍での周知方法を検討する。 （住民基本台帳数値（暦年集計）を使用）	
	指標4	観光入込客数	(目標) 297,000人 (実績) 134,100人	20,500人 (317,500人)	20,500人 (338,000人)	20,500人 (358,500人)	20,500人 (379,000人)	82,000人			観光入込客については、新たな体験プログラムの実施やSNS等を活用した魅力の発信を実施し、着実な増加となっている。今後、花貫渓谷や海岸部の活用など観光スポットの更なる魅力向上を図り、年間とおした観光客の増加を図る必要がある。	
	指標5	合計特殊出生率	(目標) 1.36 (実績) 1.36	—	—	—	—	0.1 (1.46)			茨城県人口動態統計（5年に1回） H30～R4の結果は、令和5年度中に公表予定	
	指標6	萩っ子5（5つの約束）を意識して生活した児童生徒の割合	(目標) 95.30% (実績) 84%	1.20% (96.5%)	1.20% (97.7%)	1.20% (98.9%)	1.10% (100%)	4.70%			年2回実施している「学校大好きアンケート」の結果を分析し、萩っ子5の約束を意識した生活が送れるよう、各学校において、意欲の向上が図れる取組を実践していく。	
	指標7	地域の特色を生かし、誰もが快適に暮らせるまちになっていると思う市民割合	(目標) 58.80% (実績) 58.80%	—	—	—	—	6.20% (65.0%)			総合計画策定時の市民アンケート（5年に1回） 令和6年度に実施する予定	
	指標8	市民と行政が適切に役割分担し、協力してまちづくりをしていると思う市民割合	(目標) 24.40% (実績) 24.40%	—	—	—	—	25.6% (50.0%)			総合計画策定時の市民アンケート（5年に1回） 令和6年度に実施する予定	
	②実施事業	事業名		実施年度				事業内容				中間時点（令和4年度）の事業効果
高萩市まち・ひと・しごと創生推進事業	特別措置を適用して行う事業	総合戦略に掲げるすべての事業	R3	R4	R5	R6	別紙「第2期高萩市創生総合戦略 重要業績評価指標（KPI）の達成状況について」参照					
③評価方法	高萩市まち・ひと・しごと創生有識者会議にて説明を行い、評価・検討等を行った。											
④中間評価の公表方法	高萩市企画財政課のホームページに掲載											
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画の数値目標においては、現時点で評価不可指標が4項目あり、確認できる指標のみ評価すると中間目標を未達成が過半である。企業版ふるさと納税制度でいただいた寄附を有効活用しながら、掲げた事業に取組み、指標及び事業目的の達成に向け計画を推進して欲しい。											